

公表

事業所における自己評価総括表 多機能型事業所（放課後等デイサービス）

○事業所名	てとでのキッズ 多機能型事業所（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	HUGシステムを使用し、毎回の療育に対して支援内容を保護者に発信している。	支援内容に沿って、取り組んだことを発信している。 写真を添付し、実際の療育内容が伝わりやすくしている。 排泄、昼食やおやつ摂取量など細かい部分も記載している。	それぞれの将来に合わせて、必要とされていることを記載していきます。
2	保護者の就労を支える延長支援を行っている。 ご家族の状況や就労時間等の相談を受け、個別支援計画書に記載し、人員配置を整えている。	家族のニーズに応じたサービスの提供ができるよう、相談支援員と連携を取りながら療育を行っている。 保護者の就労以外にも、病気や怪我、出産など家族の状況に応じて送迎したり、延長支援を行っている。	・保護者支援の充実
3	・医療的ケア児や服薬管理が必要なお子様も集団経験ができる環境が整っている。 ・医療連携を法人内すがはら病院・訪問看護ステーションと結び看護体制を整えている。 ・緊急時は、協力医療機関（すがはら病院）の医師がかけつけ対応してもらえる。 ・作業療法士等専門職を配置しており、個別療育（専門的支援）を行っている。	・医療的ケア児の受け入れ時には、医師、看護師、児発管、保育士等で会議を設けることでお子様の情報共有や緊急時に備えた対応を取っている。 ・かかりつけ医より診療情報提供書をいただき連携を図っている。 ・多職種（理学療法士・作業療法士・看護師・保育士・児発管）で話し合い連携している。	・看護師の体勢を整える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保護者支援：保護者会や勉強会について】 今年度は2回の保護者会・勉強会を実施しました。 また、きょうだい児も含むお楽しみ会はご家族で楽しんでいただきました。 本来は5回の保護者会を計画していましたが、出席者が少なく2回しか実施できませんでした。	日程の設定と、保護者のみでなく家族全員で参加できる方が参加しやすい。	日程を考え直す必要がある。 きょうだい児を含むお楽しみ会を、もっと充実した内容にする。
2			
3			